会　議　記　録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会　議　名	令和７年度第１回高松市こども未来館運営協議会
開催日時	令和８年２月５日（木）　１０時００分～１１時３０分
開催場所	高松市こども未来館　多目的室
議　　題	（１）　令和７年度高松市こども未来館における各種事業の報告について （２）　令和８年度高松市こども未来館における各種事業の企画等について（諮問） （３）　その他
公開の区分	■　公開　　□　一部公開　　□　非公開
上記理由	
出席委員	笠井委員、梶ヶ谷委員、加野委員、北岡委員、北堀委員、佐々木委員、高屋委員、寺林委員、野町委員、堀尾委員、宮脇委員
傍　聴　者	０　人　　（定員　５　人）
担当課及び連絡先	こども未来館管理係 839－2571

会議の経過及び結果
（１）　令和７年度高松市こども未来館における各種事業の報告について 事務局から事業報告 （２）　令和８年度高松市こども未来館における各種事業の企画等について（諮問） 事務局から内容について説明 （３）　その他 事務局から開館時間の変更等について説明 【主な質疑・意見等】 委員） 香川高専、香川大学のイベントや、高松北高校理学部や中学校美術部とコラボした職員によるイベントは、小さい子どもが少し世代の違ったお兄さん、お姉さんと交流できる貴重な機会であると考える。 事務局） 引き続き、教育機関と連携し、幅広い世代と交流できるイベントを開催していきたい。

会議の経過及び結果
委員） こども未来館学習の内容が、毎年特に変わりないように思う。 事務局） こども未来館学習の体験活動・学習内容等について審議するこども未来館学習運営委員会において、改めて検討する。 委員） 市内の小学校４年生にとって、こども未来館学習は楽しみにしているイベントの１つと考える。学校以外での、貴重な学習の場である。 委員） プラネタリム観覧料の減免の内訳を知りたい。 事務局） 令和７年４月から１２月までの入館者数 17,240 人のうち、約 7,000 人が観覧料を減免している。 委員） 令和９年９月から、市内中学校部活動が地域展開され、地域クラブ活動への移行となる。例えば、地域クラブの活動において、こども未来館を利用しやすくなるような工夫を考えていただくようお願いしたい。 事務局） 全庁的な課題であると考えている。できる範囲で対応したい。 会議の結果、「教育機関や子育て支援関係団体との積極的な事業連携の検討」、「子育て支援等に関する企画・情報発信」、「複合施設の強みを生かした利用しやすい施設となるよう取り組むこと」との意見が出された。